若さと技術が光るクリーニング屋さん

有限会社 白星社

代表取締役社長　浜谷亘幸氏
柏崎市藤元町8-58
Tel.22-4731　Fax.21-7460

残暑厳しい八月下旬、藤元町にある有限会社白星社さんへ伺いました。広い事業所内には、高性能の機械や仕上げ台が多数置かれて稼働し、駐車場には何台も外渉車がありました。

代表取締役社長の浜谷亘幸さんにお話を聞きました。白星社さんは、昭和四十年にお父様の昇さんが市内春日で創業され、今年で五十五周年になるそうです。一般衣料から、和服・布団・絨毯・靴・ユニホーム・テント・キャンプ用品・革製品・チャイルドシート、ほとんどの物を洗うことができるそうです。

亘幸さんは二代目で、昭和四十八年生まれの四十九歳。休日は、車やバイク、冬はスキーにスノボ。コロナ禍で現在はできていないそうですが、多趣味でアクティブな方です。

地元の小中学校、柏崎商業高校を卒業された後、家業を継ぐために富山県にある大きなクリーニング店で修業されました。三年ほど勤め、実家に戻ると同時に父親の昇さんが倒れられました。「父親と一緒に仕事をしたことがないです。二十一歳からずっと社長です。こんなに長く社長やっている者いないですよ」若い頃は大変苦労されたそうですが、平成八年には受注数増加により、事業所を現在の場所に移転し、着実に経営を拡大されてきました。また、人材育成にも力を入れられています。「若い子の力はすごいですよ。若者のやる気を伸ばすことが、会社の成長に繋がると思っています。若い子の能力・可能性は、目を見張るものがあります」

白星社さんに入ると、活気を感じます。幅広い年代層からなる十一名の社員がおり、その中でクリーニング師国家資格を持つ息子さん夫婦や、情報発信を積極的に行い営業熱心な若い社員もおられます。共に二十代です。いつどなたにお会いしても良いように、社員全員が名刺を持ち、それぞれの部署で対応されています。「以前から当社は、鉄工所の防護靴も洗っていました。ずっと当たり前と思ってきましたが、それをなぜ言わないのかと息子に指摘されました。若者はアンテナの張り方が違って、ＳＮＳや印刷物で情報を発信してくれています。また、衣料を洗う文化が国によって違うため、娘が外国人向けに英訳したパンフレットを作成してくれました」昨今の燃料費・包装材の高騰、止まらないコロナ禍、どの業種も大変なときですが、白星社さんの若者のモチベーションの高さが力強いです。

工場内を見学した折、和服のアイロンかけ仕上げ（写真上）を見せていただきました。滑らかで無駄のない、着物の風合いを大事にした素晴らしい技術でした。「着心地を考えて、どの品物も仕上げは１００％手仕事です」

実は、国指定重要無形文化財の綾子舞の衣装のクリーニングも白星社さんがされています。いつも気持ち良い状態で着て舞えるように、クリーニングの分野で支えている会社もあるんですね。

（十人衆㊙・㊣取材）

なじょだね取材先事業所ＰＲコーナー

今月の取材先

今年で55年周年

㈲白星社 様　柏崎市藤元町8-58

Tel (0257) 22-4731　Fax (0257) 21-7460

Instagram やってます

HAKUSEISYA